

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

豊かで楽しく快適なくらしの創造をめざす、『豊・楽・快』創造企業

売上高

5,000億円

純利益

180億円

販売棟数

15,000棟/年

事業外売上構成比

15%

② 中長期の経営戦略

1. 分譲住宅事業の成長

人口動態を踏まえた地域戦略。安定成長エリア、拡大注力エリア、ネットワーク活用エリアに区分し、新規出店やM&A等で成長とシェア拡大を推進

2. 事業外事業の拡大

注文住宅、中古住宅、アパート・収益不動産、分譲マンション、豪州・米国海外事業、リフォーム・ストック事業で売上比5%から15%へ伸張

3. 経営基盤の強化

仕組み化による経営の見える化で事業リスク評価を強化。人材の量的確保と質的向上を目的としたDE&Iを推進

③ 対処すべき課題

① 市場の成長限界への対応

- ・ 少子高齢化と世帯数減少に伴う新築着工戸数の緩やかな減少傾向
- ・ 地域ごとの人口動態変化への対応が必要

② シェア拡大と多角化

- ・ 販売棟数15,000棟/年、年平均成長率10%以上の達成
- ・ 事業外売上構成比を5%から15%への伸張

③ 組織体制と人材確保

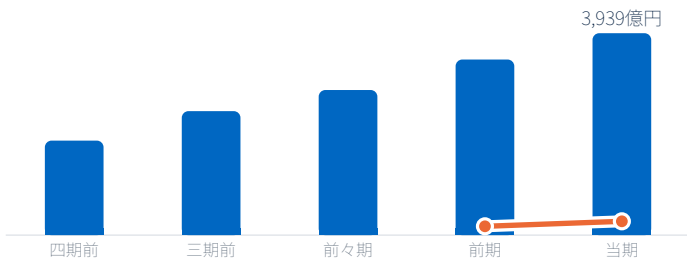
- ・ 経営の見える化による迅速な投資判断体制の構築
- ・ DE&Iを通じた人材の量的確保と質的向上

面接で使えるポイント

- ・ 1990年創業から掲げる『豊・楽・快』理念で、お客様から地域社会、パートナーまで全ステークホルダーの発展を目指す企業
- ・ 2028年3月期に売上高5,000億円、純利益180億円達成を目指す中期経営計画で、戸建住宅15,000棟/年販売を実現
- ・ 豪州・米国の海外事業展開と事業外売上15%伸張で、分譲住宅依存からの脱却を戦略的に推進中

証券コード 3465

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,939億円

営業利益率
6.9%

財務健康度
35点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 46.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
510万円

不動産業内 114位/130社

平均年齢
32.8歳

不動産業内 114位/131社

平均勤続
4.1年

不動産業内 100位/131社

女性管理職
11.2%

不動産業内 42位/76社

男性育休
81.4%

不動産業内 27位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ケイアイスター不動産が LGBTQ+への理解と支援を広げる「

